

えべつ未来戦略

戦略3

外部評価結果一覧

目次

待機児童解消対策事業	1
白樺・若草乳児統合園建設整備事業	2
小中学校学習サポート事業	3
児童生徒体力向上事業	4
小学校外国語活動支援事業	5
親子安心育成支援事業（子育てひろば事業）	6
あそびのひろば事業	7
江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）	8
公共交通利用促進対策事業	9
大麻地区住環境活性化事業	10

行政評価外部評価 結果とりまとめシート

戦略	3-A-1
事業番号	6149
政策	6
取組の基本方針	1
事業名	待機児童解消対策事業
主管課等	子ども育成課
①資料の説明は適切で分かりやすいか	<p>分かりにくい部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手段を、より具体的に記載されたい。 ・手段をもう少し詳しく書いてもらいたい。 ・この事業は何故、「0～2歳児」限定なのか、全体の入所率はどのくらいか、事業の妥当性や効率性を判断する際に必要な情報が抜けているように思います。 ・自己評価の実施日がないため、分かりにくい。 ・指標は、事業開始前のデータも記載し、まだ数値が出ていない時点であれば、「0」ではなく「-」などわかりやすく記載されたい。 ・平成26年度の待機児童数「54人」に対する、平成27年度の待機解消成果指標「99人」の関係性はどうなっているのか。
②対象・手段・意図のつながりは適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手段の「家庭的保育者」とは、どのような位置付けか不明。担い手であることは理解できる。 ・待機となっている児童の対象が0～2歳であり、児童ではない。 ・対象と対象指標が不一致。 ・誰が読み手であっても理解できるよう、もっと具体的に書いてほしい。 ・保育児童の全体増の部分が見えない。 ・待機児童の推移からの事業の必要性が分からないため、評価できない。
③成果指標の変動要因(変動が大きい場合)や事業の課題が適切に把握できているか	<p>把握されていない部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業開始前の待機児童数が見えないことにより、解消されたとする成果指標が妥当な数値とは読み取れない。 ・対象指標1(0～2歳の待機児童数)の平成27年度当初「0」の表現は適切なのか。(2歳児まで0では?) ・活動指標2は補助金の金額ではなく、この事業によって生まれた定員の数にすべきだと思います。 ・事業開始年度以前の関連指標が不明。 ・事業を取り巻く環境変化「～制度が開始される」について、これを受けて江別市はどうするのか重要。周辺市町村との比較などが必要では。 ・過年度の待機児童数は「0」ではないはずなので、記載すべきです。 ・指標は「待機児童数」とすべき。(これを0にするための事業ではないか。) ・指標としての関連性が不明、妥当かどうか判断できない。
④戦略プロジェクト等の方向性を示す指標は適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内(市民)の待機児童の解消が中心であるとのことだが、市外から安心して子育てできるという支援体制も必要ではないか。 ・プラスの情報しか開示されていないため、よく分かりません。 ・(5)コスト削減方法については、もう少し書き方があるのでは?これではとりつく島がありません。 ・(5)コスト削減方法の「必要不可欠な人件費だから」では説明になっていない。
その他気付いた点	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業の対象である2歳以降の預かり先を確保することで、お母さんが安心して働けるようなシステムを作って頂きたいです。 ・人件費であることから、コスト削減の余地はある。NPOやボランティアの活用が可能。 ・保育施設の場所など、利用者にとっては重要である。(成果動向、原因分析などからも)情報提供の在り方を含めて分析が必要。

行政評価外部評価 結果とりまとめシート

戦略	3-A-1
事業番号	6148
政策	6
取組の基本方針	1
事業名	白樺・若草乳児統合園建設整備事業
主管課等	子ども育成課
①資料の説明は適切で分かりやすいか	<p>分かりにくい部分</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体像をつかむための概要の記載が必要。 事業の大きさが見えない。 2つの保育園の基本的な情報(定員、対象、年齢、開設年度等)新しい保育園の定数など、必要な情報が抜けています。 新園の入所定員の限度が何人から何人になるのか、明記されたい。 建築費だけにフォーカスするならば、評価が必要な項目か。 上位計画の視点がある割には、縦割りので役所内のネットワークが感じられない。直営と書いた方がよいのでは。 なぜ、この2施設の整備が優先されるのか分からない。 全体の整備計画との位置付けが不明。 市全体の保育園整備計画を示すべき。
②対象・手段・意図のつながりは適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> 意図するところ、待機児童解消などと指標がつかない。 「保育事業の効率的な運営」という言葉が何度も出てきますが曖昧です。例えば、1つに統合することでどのくらいのコストが削減できるのかなどは計画時に試算していると思いますので、記載してはどうでしょうか。 設計内容(統合新園はどのような立地か、施設の概要があって子育て支援の充実がもっと見えてくるものと思う)の表記工夫をしてもらいたい。 成果指標は、待機児童数となるはずである。 昭和40年築で耐震や建物自体の寿命があることや、アスベストの心配など、子供を育てるための、そもそものスペックが必要であるため、詳しく書いてください。 市内全体の対象(保育園)について分析した上での手段意図であるべき。特定施設の建設整備ありきの内容に見える。
③成果指標の変動要因(変動が大きい場合)や事業の課題が適切に把握できているか	<p>把握されていない部分</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設整備費の妥当性。 2園を統合し建設することによる、ハード的なメリットが見えにくい。 統合対象の2園はいつ設立され、どのような不具合が出ているのか。 統合新設の根拠となる記述が必要。 新園が、どんな施設なのか想像できない。 対象施設の入所児童定員数だけでなく、市内全体の対象児童数と分布の上にとった課題を把握した要因分析が必要。 設計が成果とは言えない。 成果指標は、入所児童数や入所率ではないと思います。 子育て環境整備事業として、市内利用者居住地域のカバー率は妥当か不明。 整備する保育園の数だけでなく、対象となる児童数を指標として明らかにするべきである。
④戦略プロジェクト等の方向性を示す指標は適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> (4)成果向上余地の「待機児童解消」以前に、利用する子どもの福祉向上、親が安心して気持ちよく預けられることも理由ではないか。 (5)コスト削減方法は、この事業自体に効率性がなくても、「市直営の保育事業の運営効率化」などの波及効果を記入することで、市民が納得するような記載になるのではないか。
その他気付いた点	<ul style="list-style-type: none"> 事業を取り巻く環境変化に記載項目が多い。 統合前の数値など、コストの根拠を明確にすべき。 評価表に記載の「効率的」とはどのようなことなのか、具体的に示して下さい。 新園の仕様(主なもの)を記載してください。 具体的に市の運営費にどう寄与するかがあれば市民に納得してもらえるのでは。 これだけ見ると、数をこなせばいいのかと思ってしまいます。 入札により建設業者を決定することが、コスト削減できない理由にはならない。コスト意識の欠如。 この評価表では、この事業によって保育環境が良くなるのかが分からない。 CSの視点がない。利用している人のCSの向上も大切だと思います。

行政評価外部評価 結果とりまとめシート

戦略	3-A-2
事業番号	864
政策	6
取組の基本方針	2
事業名	小中学校学習サポート事業
主管課等	学校教育課
①資料の説明は適切で分かりやすいか	<p>分かりにくい部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポート教員とボランティア活動の違いの有無と内容を記載されたい。 ・小中学校数の記載がなく、状況が分からない。 ・小中学校数は何校あって、そのうち、派遣の実績は何校あるのか。基礎情報の記載不足である。 ・学習サポート教員、ボランティアの人数が見えた方がよい。 ・学習サポート教員は学力の向上、学校支援ボランティアは授業や行事の円滑な運営と、異なる目的を持つように思われるが、評価表では混在しており、分かりにくい。 ・手段の欄をもう少し詳細に記載されたい。 ・成果は成績が上がったことではないか。 ・体育、スキーなどの行事は、評価表の手段、意図の記載とは内容が違うのではないか。 ・学習サポートの実施学校数、実施回数、受益者(児童)数が知りたい。(学習した分で) ・どの科目で学習サポートの支援が求められているのかを記載されたい。 ・費用内訳にある「学校支援地域本部」とは何か、説明記載が無いためわからない。
②対象・手段・意図のつながりは適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習サポート、学校支援ボランティアの数は成果指標にはならない。 ・学習サポート教員と学校支援ボランティアの内容は、それぞれ分けて内容を書くべきである。 ・事業の意図から、成果指標は「学力そのもの」に係る指標とすべき。 ・事業目的に沿って実施されていないのでは。 ・ボランティア活用が本旨で退職教員の派遣が主体になっているのであれば、事業の趣旨と異なるのではないか。
③成果指標の変動要因(変動が大きい場合)や事業の課題が適切に把握できているか	<p>把握されていない部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各指標の基準は、市内中学校で必要とする対象校のはずである。そのカバー率(派遣数)を対象指標に、成果指標は目的達成の成果を記載すべき。 ・学習サポート教員、学校支援ボランティアの人数は成果にはならない。 ・果たして、派遣人数が成果といえるのか。 ・成果指標は、派遣人数ではなく学力の向上であると思います。 ・現状の記載内容では、学力向上した成果が見えにくい。
④戦略プロジェクト等の方向性を示す指標は適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業開始背景から、ボランティア等による事業サポート事業とあることから、サポート教員との差別化の経緯を明確にされたい。 ・学力調査の結果等のデータはないのでしょうか。もしあれば、評価表へ記載されたい。 ・戦略プロジェクトの趣旨に則した市の自主的、戦略的事业であることを明確にした方がよい。
その他気付いた点	<ul style="list-style-type: none"> ・環境変化に江別市の状況を加筆する必要がある。 ・平成20年度のプランで、ボランティア等による授業サポートの実施を掲げていたとのことなので、今後、学習サポート教員をボランティアにするという形でコスト削減を図ることはできるのではないか。 ・学習サポート教員、学校支援地域本部ボランティア(誰が?費用は?派遣回数?)を、具体的に記述すると理解が深まると思う。 ・小中学校は全部で何校あるのか。サポート教員、ボランティアは無償か有償か。記載されたい。 ・サポート教員やボランティアの質は担保されているのでしょうか。 ・そもそも、目的と目標が違うものにすり替わっているように思います。 ・全国统一テストの結果は、江別市はどのような位置にいるのか示した方がよい。 ・学校の御用聞きではなく、子供や低所得の親などのニーズに合わせられないのか。 ・この事業は、先生のための事業ですか。もっと子どもの側に立った運用の可能性はないのでしょうか。

行政評価外部評価 結果とりまとめシート

戦略	3-A-2
事業番号	880
政策	6
取組の基本方針	2
事業名	児童生徒体力向上事業
主管課等	学校教育課
①資料の説明は適切で分かりやすいか	<p>分かりにくい部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江別市の児童生徒の体力向上に必要な「朝運動プログラム」の要点が明確でない。 ・朝運動プログラムの内容が分かりにくい。内容は何か。詳細の記載がなく内容が分からない。 ・開始年度が平成22年度であれば、これまでの効果検証が出来ているはずである。示すべき。 ・全国体力テストで江別市の順位を記載すべき。 ・全体として分かりやすいが、江別市の現状について、事業開始背景のところで示すと更に理解が深まる。 ・出前授業も北翔大学の方が行ったのか？対象は、子どもか教員なのか？
②対象・手段・意図のつながりは適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意図するところ、現状をどのレベルにするのか明確にしたい。 ・モデル校はどう選んでいるか不明。 ・モデル校、それ以外の小中学校でプログラム内容が異なるなら指標は分けるべきではないか。 ・モデル校の選定は、委託先の提案の追認でしかない。モデル校としての選出理由を明らかにすべき。
③成果指標の変動要因(変動が大きい場合)や事業の課題が適切に把握できているか	<p>把握されていない部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象指標は、小中学校に分け、活動指標を小中学校に出前した回数を記載すべきである。 ・対象指標1で設定されている「全市小中児童生徒数」では、モデル校が対象にはならない。 ・活動指標の回数が一校分なのか、分からない。 ・活動指標は、朝運動プログラムを受けた時間や人数ではないか。 ・活動指標の取り組んだ回数はモデル校にのみか？全ての指導回数か？体力向上の割合の算出方法は？ ・成果指標1はまるで対象指標1に対する割合と錯覚させるような表記である。 ・成果指標は体力向上の割合でなく数値化すべき。 ・体力測定で8割以上の項目で改善が見られたことをもって、成果指標で体力が向上した割合を83%としているのでしょうか。これはミスリードを招きます。体力テストの結果が毎年公表されるならそれを成果指標にすべき。(ただし、全道ではなく、江別市単独が望ましい) ・どのような方法で成果指標1が確認できたのか不明。特定校での成果を全市的にどう波及させるかの手法を明らかにすべき。 ・活動指標、成果指標との関連が不明。 ・対象指標の「児童生徒数」は市全体の数値であるが、活動指標と連動していない。
④戦略プロジェクト等の方向性を示す指標は適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果と検証にどのくらいのデータが必要か、成果は随時示されたい。 ・市と委託先である北翔大学との合意点(目標)は何か、具体的に示されたい。 ・事業を取り巻く環境変化に対応した事業としては意図が具体性に欠ける。また、成果指標算出数字の根拠が不明確。 ・成果指標は実施校の向上割合であれば未実施との比較で担当課の評価(2)上位計画貢献につながるのでは。 ・8割以上の項目での改善は全国的に比べ、高いのか低いのか不明である。 ・限られたモデル校の成果を市内全児童生徒にどう波及できるかの課題。その手法の可否が不明。 ・平成26年度の担当課の評価すべてが不適切。 ・(2)上位計画貢献度は、的確かつ効果的と断定しているが、誰がどのように評価したのか根拠が不明。 ・(4)成果向上余地は、「広がることで」とあるが、広げる為にどうするかが大切では？良い取組でも自動的に広まらないと思います。
その他気付いた点	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の子供達は対象なのか否か。 ・このような事業が必要になったのは、学習指導要領がどうこうでなく、子どもたちが外で遊ばなくなったとか、車社会などが原因ではないでしょうか。 ・学校現場の教員との関係がみえると理解が深まる。 ・北翔大だけでなく、もっと協力者を増やしては？ ・誰のために事業をするのか、主体である子どもは置き去りのような気がします。 ・モデル校だけすればいいのか。DVDを配って終わりなのか、どの程度改善して、取組が浸透したら何位くらいに食い込めるのかなど、イメージしやすい表現にしては。 ・良い結果が出ていることを、未実施の学校へアピールしたり、導入のアドバイスをして広げていく努力をしているのかが全く分からない。 ・委託料635千円の事業に正職員人件費3,141千円もなぜ必要か？正職員人件費の見直しでコスト削減は可能。方法無しは不適切。担当課の意識改革と検証が必要。

行政評価外部評価 結果とりまとめシート

戦略	3-A-2
事業番号	625
政策	6
取組の基本方針	2
事業名	小学校外国語活動支援事業
主管課等	学校教育課
①資料の説明は適切で分かりやすいか	<p>分かりにくい部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成14年度の事業開始から10余年経過している。その成果、効果などを具体例で示されたい。 ・助手と表現されているので、助手的な立場の教員だと思いました。説明の記載が不十分です。 ・評価表の記載内容では、意図に記載のある「英語能力の向上」の成果が分からない。
②対象・手段・意図のつながりは適切か	不適切な部分
③成果指標の変動要因(変動が大きい場合)や事業の課題が適切に把握できているか	<p>把握されていない部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動指標は必須授業に助手が入った時間数から何を読み取らせるのか不明。 ・英語能力の向上が事業の意図として記載されているが、成果は外国人助手が授業に入った割合のみで、実際に英語能力が向上しているのかがよく分からない。 ・成果指標は、外国語指導助手が授業に入った割合ではなく(これはむしろ、活動指標)、その結果、児童の英語力がどれだけ上がったのか、または、この事業に魅力を感じて転入してくる子育て世代がどれだけいたのかだと思います。
④戦略プロジェクト等の方向性を示す指標は適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(3)「成果が計画どおり上がっているか」の内部評価で「上がっている」としているが、成果が上がっている理由が不鮮明。
その他気付いた点	<ul style="list-style-type: none"> ・必修授業に対する助手派遣の成果は授業数で把握可能か、甚だ疑問。 ・外国語活動指導助手をどのような基準で選んでいるか。 ・継続事業だが、成果指標が実施回数(割合)となっている。100%を達成しているのだから(量的に)質的な目標値を設定し、より良い事業としていく方向性を示す(市民理解)必要もあるのでは。 ・外国語指導助手が入った時間数の増加に連動して、正職員人件費が増加するとは考えられない。正職員人件費のコスト削減は可能ではないか。 ・すべての先生が同じ内容で指導しているのか、その内容はどのようなレベルなのか。 ・実施に当たって、英語が母国語というだけで採用しているの?と思いました。事業の実施の中身が見えないのでよく分かりません。 ・英語の授業が増えた分でのどの教科の授業が減るのかな、と思いました。

行政評価外部評価 結果とりまとめシート

戦略	3-A-3
事業番号	1049
政策	6
取組の基本方針	1
事業名	親子安心育成支援事業(子育てひろば事業)
主管課等	子育て支援センター事業担当
①資料の説明は適切で分かりやすいか	<p>分かりにくい部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体名「ぽこ あ ぽこ」を付記されたい。 ・”託児”の正しい意味、事業内容は正確に。 ・「ぽこ あ ぽこ」の事業内容が分かるように(子育て支援相談、託児、交流)記載してほしい。 ・事務局の説明では、①子育て親子の交流、②相談、③託児が三本柱とのことですが、評価表からはそのように読めません。文章を分かりやすく簡潔に、また必要な情報をしっかり盛り込んでください。 ・子育て支援センターの事業の一部であるが、市民から見て具体的にどの事業であるのか、理解できないのではないか。 ・当該施設は、市内のどの場所に何か所あるのか。事業内容が複数あるようですので、具体的に内容や情報を書いていただくと分かりやすいです。 ・市外の利用者がいることも記して頂くと良いです。 ・「ぽこ あ ぽこ」の名称が出てこない。 ・機能が3つあるとのこと、支援センターへの委託なども含めて、分かりやすく記載してほしい。 ・この事業がなぜ必要になったのか理解しにくい。環境変化の一般論ではなく、江別市の実態を踏まえた説明の記載が必要。
②対象・手段・意図のつながりは適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意図するところを詳細に記載されたい。対象の拡大、普及に寄与する事業の在り方が求められる。 ・事業の目的と成果の手段を、「内容、やり方」別に具体的に整理してほしい。
③成果指標の変動要因(変動が大きい場合)や事業の課題が適切に把握できているか	<p>把握されていない部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動指標2は不適切。 ・育児相談件数は指標にしたい。 ・季節変動要因としての利用数が必要。 ・成果指標は、ひろばや託児の利用者数ではなく(これは活動指標)、子育て環境が充実していると思う市民の割合や、江別市で子どもを産み育てたいと考えて転入してきた子育て世帯の割合だと思います。 ・成果指標1、2の内容(区分の具体名)を示してほしい。 ・指標は相談件数などにして、3つの機能をそれぞれを評価できるようなデータを記載すべきである。
④戦略プロジェクト等の方向性を示す指標は適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動指標にサポーター人数、費用内訳にサポーター活動費の記載が求められる。 ・(4)成果向上余地の「イベント、企画等の工夫」とは具体的にどのようなことか。 ・(5)コスト削減方法において、むしろ事業を拡大する方向性が必要(拠点を増やす)という検討はされていないのか？(利用者増加、野幌しかない) ・事業の課題をまったく記載していない。 ・子育て親子のネットワークの構築とは具体的にどのような内容なのか。 ・市民の利用割合が知りたい。
その他気付いた点	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の使い分け間違いが目立つ。(伸展、進展、小子化) ・コスト削減は今後の運営状況、市民ニーズ、評価などによって検討余地があるのではないか。 ・事業を機能別に分かるように記載してほしい。 ・事業そのものは地域の子育て支援に大きな役割を果たしていると思っているが、より一層充実させるための分かりやすい表現が望まれる。 ・「子育てひろば」「あそびのひろば」の違いがイメージしやすい工夫があると良いです。 ・市外の人でも利用することで、市民にどんなメリットがあるのか。(逆に利用できないなどデメリットは無いのか) ・先に場所(施設)ありきである。他の場所を利用した場合との比較検討がない。 ・市直営の運営管理は必要ない。指定管理者制度の導入も十分可能。利用者増がコスト削減努力をしない理由にはならない。担当課の意識改革が必要。 ・1日平均の利用者数が多く、驚きました。市外からの利用もあることで納得できました。

行政評価外部評価 結果とりまとめシート

戦略	3-A-3
事業番号	757
政策	6
取組の基本方針	1
事業名	あそびのひろば事業
主管課等	子育て支援センター事業担当
①資料の説明は適切で分かりやすいか	<p>分かりにくい部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全体が把握できるよう説明に工夫を求める。例えば、自治会館、地区センター数など付記されたい。 ・名称が色々あり分かりにくい。(子育てひろば等) ・少しずつ違う用語が出てきて、違いがよく分からず混乱します。出張ひろば、子育てひろば、子育てサロン、親子にこにこひろば・・・分かりやすい記載をお願いします。 ・手段を整理して分かりやすく。 ・手段の文章にたくさんの名称が出てきてわかりづらいです。 ・地域子育て拠点施設とはどこか。 ・17か所で11回しか開催していないのか。評価が分かりにくい。 ・一般論ではなく、江別市の実態から分かりやすく説明する必要がある。
②対象・手段・意図のつながりは適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手段は、対象ではない市民に理解できるよう説明に工夫を求めたい。 ・(2)上位計画貢献度の「子育てを通じたネットワーク」の内容が分かりにくい。 ・活動指標の区分を分かりやすく。 ・「交通手段により」となっているが、17か所は江別、野幌、大麻地区でニーズに合わせた開設となっているか分からない。
③成果指標の変動要因(変動が大きい場合)や事業の課題が適切に把握できているか	<p>把握されていない部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標は、ひろばやサロンの参加者数ではなく(これは活動指標)、子育て環境が充実していると思う市民の割合や、江別市で子どもを産み育てたいと考えて転入してきた子育て世帯の割合だと思えます。 ・事業を実施できなかった地域、施設が分かる指標が必要。
④戦略プロジェクト等の方向性を示す指標は適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会館などの利用で、地域課題があげられている。課題解決策の検討がなされている否かの記載がほしい。 ・平成26年度の費用内訳において、全体事業費の1/3しか示されていない。
その他気付いた点	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容に経費は不要。 ・言葉の整理が必要。(正式呼称は、ひろば、サロン) ・ボランティアはすべて無償なのか。 ・全体的に文章の統一がない。 ・事業運営に係るスタッフはすべてボランティアとありますが、非常勤報酬を払っているのですから、これは正確ではないと思います。 ・今後とも、大切な事業で「安心して子育てできる江別市」を望むものとして大切な事業正しく評価したい。 ・正職員人件費が事業の割に大きすぎる。ボランティアに係るコスト消滅ができなくとも、正職員人件費は削減できる。

行政評価外部評価 結果とりまとめシート

戦略	3-B-1
事業番号	310
政策	5
取組の基本方針	1
事業名	江別の顔づくり事業(野幌駅周辺土地区画整理事業)
主管課等	顔づくり推進室都心区画整理課
①資料の説明は適切で分かりやすいか	<p>分かりにくい部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容詳細が把握しにくい資料と言わざるを得ない。文章通り読み通す内容は分かりやすい。 ・専門用語が多く、一般市民に分かりにくい。(土地の高度利用、仮換地協議、補償協議など) ・「前」市長の公約で始まったこと、「新総合計画」は第4次総合計画であること、正確な記述をお願いします。
②対象・手段・意図のつながりは適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市民のくつろぎ空間」とは、具体的に何か。 ・市長公約、区画整理事業ありきで対象、手段、意図とともに全市民の理解を深める努力を欠いている。
③成果指標の変動要因(変動が大きい場合)や事業の課題が適切に把握できているか	<p>把握されていない部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施行地区は決定していることから面積を指標とする必要は無いが、南北分断していることから、南、北の面積とすることは可能。 ・市内人口は減っているのに、JR利用や市民のくつろぎ空間としての利用はどうなのか。 ・指標が進捗率だけではわからない。 ・計画数値と対比した指標が必要である。
④戦略プロジェクト等の方向性を示す指標は適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度の都市計画決定時点では、事業の完了はいつを予定していたのか。また、「遅延が生じている」とありますが、どの程度の遅延なのでしょう。 ・更なる成果向上は困難とは、どの部分のことですか。 ・事業推進中でも課題は多いはず。課題を発見し、対処、改善しようとする姿勢がない。計画に従うので成果向上余地なしは理解不能。向上余地を考えるべき。
その他気付いた点	<ul style="list-style-type: none"> ・長期に渡る事業であること、事業費が高額であることもあり、2頁の評価表だけでは評価が難しい。 ・「江別の顔づくり事業」は困難な課題を抱えながらも良くやってこられたと思う。江別市の特徴として市街地の中央に鉄道があり、今後ともこの課題解決を図るか教訓として活用できる評価が必要である。 ・「江別版コンパクトなまちづくり」とは具体的にどのどのようなことでしょうか。駅はきれいになりましたが、あまり賑わっていないですね。利便性向上はしていますか。 ・立ち退き等もあるのか、あればどのくらいか、を知りたい。 ・事業取り巻く環境変化で、「15万人都市」が無理となった今、何を目標としているのかも分かる方が良いのでは。今でも「身の丈」なのか分からない。(総費用で) ・国の補助金があるからコスト削減余地はないというのは理解できない。毎年度、事業を点検、コスト削減すべき。 ・直接的な関係者以外の市民に積極的に説明しておらず、市民理解の努力に欠ける。 ・事業費中の国費を明らかにすべきである。

行政評価外部評価 結果とりまとめシート

戦略	3-B-2
事業番号	1059
政策	5
取組の基本方針	2
事業名	公共交通利用促進対策事業
主管課等	政策推進課参事(住環境活性化・公共交通)
①資料の説明は適切で分かりやすいか	<p>分かりにくい部分</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通利用促進のため、何をしたのか目的と成果が結びついていない。 全体的に説明が少なすぎて具体的な内容が分からないので、事業で行っている内容を記載してほしい。 具体的にどのような事業を行ったのかがまったく分からない。 対象は市民となっているが、属性などが分からない。(他の評価は、他計画の列挙などで類推できるものもある) 野幌地区中心？移住者誘致ですか？
②対象・手段・意図のつながりは適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> 手段については、事業内容を付記なしでは、全体像が見えない。 「バス利用の減少等が進み」は、どこから出たデータなのか不明。 自己評価については、「市民が読む」という事を意識して書いてほしい。「公共交通の課題」とは具体的に何を指しているのかが不明。(戦略と戦術が見えない) 対象が市民という抽象的になっていることに疑問。
③成果指標の変動要因(変動が大きい場合)や事業の課題が適切に把握できているか	<p>把握されていない部分</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動指標の事業数が「4件」に対し、事業内容が2件では事業内容の詳細が不明である。 「交通機能の向上や利便性の確保」で不便である事実を具体的に表記してほしい。 そもそも、なぜ公共交通を促進しなければならないのか、意図で利用促進とあるが、それは手段で目的が書かれていないのでは。 バス路線の新設、再編などの成果を評価する必要がある。
④戦略プロジェクト等の方向性を示す指標は適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通検討会議の今後の方向性や、具体的な取組の内容を記載していただきたいです。 事業を始めてから成果が上がっていない。アプローチが適切なのか疑問。 検討会議、公共交通会議でどのような課題が提起され、課題解決への取り組みが分からない。的確に把握できているか不明。
その他気付いた点	<ul style="list-style-type: none"> 事業をとりまく環境変化で何を具体化すべきか不明。 交通会議の構成について詳細の記載が必要。 事業開始背景で課題解決に向け、何をどうしたいのか分からない。 コスト削減余地を「あり」としているのはこの事業だけなので、その点は評価したいと思います。 「交通」はバスだけでJRは含まないのでしょうか。 全市民を対象とした事業である、しかし、その内容は、野幌駅周辺に限定されたものである。全市民を対象とした計画が必要。 より良い事業となっているか、伸びしろがあるかなど、事業と対象の特性とニーズが合致しているかが分からず、不親切だと思います。十勝バスのような、成功事例検討や事業者努力(連携)もなされるのでしょうか。 正職員の人件費が過大である。 地域公共会議が事業者と行政で構成し、利用市民の参加がない。

行政評価外部評価 結果とりまとめシート

戦略	3-B-3
事業番号	879
政策	5
取組の基本方針	1
事業名	大麻地区住環境活性化事業
主管課等	政策推進課参事(住環境活性化・公共交通)
①資料の説明は適切で分かりやすいか	<p>分かりにくい部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者は高齢者のみに見えるが、若い人を集めるなど、説明はないのか。 ・大麻団地の構造悪化などは住民主体で進めても、なかなか解決は難しいと感じます。 ・手段にプランや構想が列挙されているが、簡単に言うと何を目指しているのか、ワンフレーズ加えると良いのでは。 ・「住民主体」でどうしたいのか。 ・大麻団地だけのパイロット事業なら明記すべき。 ・受益者と大麻地区の対象にギャップがある。 ・大麻地区の誰と何を対象に考えたものか分からない。
②対象・手段・意図のつながりは適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象は大麻地区とあるが、内容を読むと大麻団地が主眼のように見える。両社はイコールなのですか。具体的な事業の内容がよく分からない。 ・意図に沿ったNPO活動なども含め、もっと「成果」としてアピールしても良いのでは。(具体的に事業で何をしているか分からない) ・運営協議会と住民との対話交流がない。
③成果指標の変動要因(変動が大きい場合)や事業の課題が適切に把握できているか	<p>把握されていない部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大麻地区の人口を成果指標とは言えない。(対象指標としたい) ・地域住民の満足度なら成果指標。 ・人口は成果指標ではなく、対象指標。 ・成果指標は、江別市が暮らしやすいと思う市民割合(のうち、大麻地区の住民)、または転出をどのくらい食い止めたか、だと思います。 ・少子高齢化社会で成果指標を人口だけにすると見えないものが増えるのでは。 ・活動指標と人口との関連が不明。 ・協議会の開催回数だけが成果指標ではない。住まい相談ワークショップなどを成果指標にすべき。
④戦略プロジェクト等の方向性を示す指標は適切か	<p>不適切な部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大麻地区と大麻団地の2部構成の記載が理解しやすい。 ・成果が上がっていない(人口減少)。 ・数値目標でどのような結果を、いつまでに目指しているのか、具体的なものはあるのか。 ・ワークショップなどで提起された課題が協議会に伝わり、協議結果を住民に説明すべきである。
その他気付いた点	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の内容が、地区居住者との連携によるもの、住民主体であることを強調したい。 ・住まい相談の内容や相談件数はどれくらいですか。 ・担当課の26年度の成果向上余地の評価は正しい。 ・指針のまとめと協議会の主張メンバーが同じで発想が変わらない。 ・全市的に人口減少することが明白なので、成果指標も住民満足や利便性向上にしないと今後達成できない事業ばかりになるのではないか。